

松浦のくんち

10月から11月にかけて、無病息災と地域の発展・繁栄を願って、各地でくんち行事（各神社の秋の例大祭）が行われました（取材できたもののみを掲載）。

御厨



蛇踊りを披露

10月17日 姫神社

無病息災と豊漁・豊作を願う神事後、地元住民がご神体の「お旅所」までの約2^{キロ}を笛や太鼓を鳴らしながらゆつくりと練り歩きました。

また、御厨蛇踊り保存会による伝統芸能の蛇踊りが、御厨小学校を皮切りに同町内各所で披露され、集まった住民から大きな拍手が起こっていました。

志佐

やぶさめ 流鏑馬を披露

10月26日 淀姫神社

県内で唯一伝わる「流鏑馬」は、当たった矢の本数などで来年の豊凶を占い、馬が巻き起こす風にあたりと無病息災、外れた矢を拾うと良縁に恵まれるといわれる、900年以上の歴史があるものです。

射手は、福田邦光さん（調川・上平尾、60）と中村嘉宏さん（平戸市、39）。烏帽子と狩衣装で、馬上から3カ所の的を目掛けて18本の矢を放ち、15本命中。中川明宏宮司は「来年も豊作が期待できるでしょう」と話していました。



福島

奉納相撲大会

10月26日 今山神社

浦安の舞や肥前福島玄蕃太鼓の奉納、奉納相撲大会などが行われました。

奉納相撲大会は、福島町相撲実行委員会主催で、同神社境内で開催されました。今大会には、市内外から園児・小学生のわんぱく力士46人、中学生・一般の力士24人が参加。小雨が降る肌寒い天気の中、個人・団体戦や学校対抗戦、抜き相撲で熱戦を繰り広げました。



今福

飾りみこしの演舞

10月15日 今福神社

神事の後に地区の住民が、ご神体の「お旅所」までの約2^{キロ}を笛や太鼓を鳴らしゆつくりと練り歩きました。

今福港近くの広場では、平戸神楽や獅子舞などが披露され、地域の若者たちでつくる「今福常若隊」による飾りみこしの演舞では、担ぎ手約20人が「和一処（わーいっしょ）」の掛け声で飾りみこしを空に向かって放り投げると、集まった住民から大きな拍手が起こっていました。



勇壮、漁船パレード

11月5日 羽黒神社

無病息災と豊作、豊漁を願う伝統行事で、太鼓や笛の音に合わせて、みこしを担いだ大人たちが隊列をつくって、町中を練り歩きました。

みこしは星鹿港から漁船に積み込まれ、大漁旗で飾り立てられた漁船約30隻が隊列を組み、星鹿港内を3周する勇壮な漁船パレードが行われました。

星鹿

